

冷 学長の言葉 ふ

大学における教育の質保証

学長 鎌倉 やよい

大学は研究を実施して成果を示し、その成果に基づく良質の教育を提供することによって社会に貢献することが求められています。従来、各大学は自律的に質の向上のための努力を実施してきましたが平成16年には認証評価制度が発足し、大学は文部科学大臣が定める機関から7年に1回の認証評価を受けることが義務付けられました。これは、外部からの評価によって、大学の教育の質を社会に保証することであり、各大学において「内部質保証システム」が適切に機能しているかが問われます。適切な機能とは、自律的に必要な情報を収集し、自己点検して評価し、改善が実行されていることです。本学は平成22年度に大学基準協会による認証評価を受け、7年後の今年度に2回目の認証評価を受けるため、自己点検・評価報告書を作成して申請し、今年10月頃に現地調査が行われる予定です。

また、平成27年4月に学校教育法が改正されました。 改正の趣旨には「大学が、人材育成・イノベーション の拠点として、教育研究機能を最大限に発揮していく ためには、学長のリーダーシップの下で、戦略的に大 学を運営できるガバナンス体制を構築することが重要 である。」と説明され、学長は権限が拡大されたと同 時に、将来ビジョンと実現に向けた方策を明示するこ とが求められています。このような変化を背景に、昨 年7月には将来ビジョンを示し、本学の年度計画に組み 入れて実行してきました。まずは、教職員が本学のス テークホルダーを明確に認識する必要があります。具 体的には、本学の在学生、後援会、同窓会、日本赤十 字社、中部ブロック赤十字病院及び豊田市です。学生 は学習する義務と権利を有しますので、大学はこれら を保証するために、学生目線で学習環境を確認し、良 質の教育を提供できる環境を整備しなければなりませ ん。将来ビジョンは、教職員の教学マネジメント力、 教員の教育力・研究力を基盤とし、学生支援、職場環 境調整、災害支援、国際交流、地域連携、赤十字史料 室活用の枠組みで具体的方策を提示しました。

まず、教学マネジメント力・教育力・研究力を軸に 到達目標を設定し、年間企画を配置したSDマップを今 年度から運用して、教職員のスキルアップを目指しま す。学生支援では、平成30年度から売店と食堂を生協 が一括管理する運営を予定し、また学生の自主的学習 のためのアクティブラーニング設備をさらに充実させ て整備します。職場環境調整として、教員が時間調整 を行いやすい裁量労働制を導入しました。災害支援で は、生活拠点支援を中心とした災害対応マニュアルを 完成させる予定です。国際交流では、特にアジアの看 護系大学との連携を深め、短期研修プログラムの留学 生を受け入れることを目指すと共に、地域国際交流と してバイリンガルのブラジル人2世の本学入学の可能性 を模索します。さらに、地域連携ではヘルスプロモー ションセンターの活性化に向けて、地域の医療従事者 向けの研修会を企画していきます。赤十字史料室には 明治時代の日本赤十字社本社の救護活動に関する貴重 な史料が保管されていますので、外部に向けて広報し、 活用を推進する予定です。

赤十字の理念に基づく建学の精神のもと、実践の科学としての看護学を追及し、研究成果に基づく良質の教育を提供できるよう、さらなる努力を重ねていきたいと思います。

医療従事者向け研修会一覧

題名	日時	講師	定員
最新文献を用いてマタニティ・ヨーガの効果を説明できますか? ~マタニティ・ヨーガの文献の批判的検討~	平成29年8月17日(木) 13:00~14:45	母性看護学 教授 野口 眞弓	40名
誤嚥させない食事介助 〜演習であなたの食事介助方法を確認してみませんか〜	平成29年9月1日 (金) 10:00~15:15	学長 鎌倉 やよい 京都府立医科大学 助教 摂食嚥下障害認定看護師 山根 由起子先生	40名
もう一度学びたい「看護過程シリーズ」 ①アセスメント	平成29年9月30日(土) 10:00~11:45	基礎看護学 教授 山田 聡子	25名
もう一度学びたい「看護過程シリーズ」 ②看護診断から看護計画	平成29年10月7日(土) 10:00~11:45	准教授 中島 佳緒里 講師 竹内 貴子	
小児科医と学ぶ正直な診療と研究	平成29年11月18日 (土) 10:00~11:45	専門基礎 教授 上村 治	50名
保育園や幼稚園および学校における専門性のある健康管理方法を学ぼう! ~児童生徒のセルフケアを目指した健康管理~	平成30年2月15日(木) 13:00~16:45	専門基礎 教授 上村 治 小児看護学 教授 大西 文子	30名
はじめての看護研究	平成30年3月6日(火) 10:00~12:15	成人看護学 教授 東野 督子 老年看護学 教授 小林 尚司	40名

講座は全て有料となります。詳しい金額やお支払方法などは決まり次第順次お知らせします。(内容については変更となる可能性があります)

以春風接人. 以秋霜自粛

学長 鎌倉 やよい

卒業生の皆さんは医療・看護の世界へ、修了生の皆さんは研究や教育の世界へ船出しました。 卒業・修了はゴールでは なく、皆さんの長い人生の通過点であり、これからが始まりです。



看護を取り巻く環境は、大きく変化しています。日本は、世界に類をみない速さで高齢化率が増加しています。この超高齢社会の進行から、在宅医療の推進の必要性が高まり、一方では医療技術の発展などにより、看護師の役割拡大が求められています。看護専門職としての将来は広く、大きな可能性が広がっています。

その将来を見通して、皆さんの夢を描いてください。 看護の理想に向かい、今できることを努力する姿勢が 大切です。

「以春風接人」、私の学生時代に当時の桑原幹根愛知県知事から贈られた言葉です。これは、江戸時代の儒学者である佐藤一斎の教えであり、「以春風接人,以秋霜自粛」と言志四録に記され、春の風のような温かい心で人に接し、秋の霜のような厳しい心で自らを律することを意味しています。人に寛容に接する看護師としての態度を示し、言志四録は指導者の書でもあることから看護界のリーダーとなる期待が込められています。「春風をもって人に接し、秋霜をもって自らつつしむ。」この言葉を皆さんに贈ります。

皆さんの看護実践が、医療を受ける人々へ届いたとき、看護の効果を実感できたときに、看護専門職としての喜びを感じることと思います。皆さんのこれからの成長を願っています。

大学生活を振り返って

看護学部第10期卒業生 木下 知香

私は、大学入学後、 学習内容の興味が増す 一方で難しさにつまず いてしまうことがあり ました。しかし、先生 方は私が理解しやすい ように教えてくださっ たり、私に合った学習



方法について一緒に考えてくださったりしました。 また、仲間と一緒に考え、お互いを高め合いなが ら一緒に乗り越えることができました。看護学実 習では、患者様に合った看護を行うためにどうす べきかを何度も考えました。学習を深め、先生方 のアドバイスや仲間と意見交換を繰り返すことで、 狭かった視野を広げることができ、徐々に患者様 に寄り添った看護へとつなげることができました。 私が充実した4年間を過ごすことができたのは、 このような素晴らし先生方や仲間に支えられてい たためであり、感謝の気持ちでいっぱいです。い ざ卒業となると、その別れに寂しさを感じずには いられません。しかし、この大学で過ごした時間 や経験を糧にし、自分に責任をもち、的確な知識 や技術を身に付けることはもちろん、患者様に寄 り添った看護を行える看護師を目指し、今後も 日々精進してまいりたいと思います。

修士課程を終えて

大学院修了生 今西 美和

私は、3年間の長期履修の予定で本学の大学院に進学しました。それまで助産師として14年間働いておりましたが、看護専門学校の教員となり、学生と日々関わる中で、私の考え方は臨床経験に基づく傾向があることに気付き、大学院での学びは今後の



仕事に必ず役立つと思い進学を決意しました。

入学後の仕事と家事・育児と学業の両立は想像以上に大 変でした。1年目から2年目の前半期は、授業の準備や課 題に追われる日々でした。慌ただしい中にも専攻や年代の 違う仲間と討議することは、私にとって刺激となり、新た な知見を得る機会となりました。2年目の後半期以降は、 様々な研究手法を用いた論文を数多く読みました。論文の 内容を理解するために何度も指導を仰ぎ、研究計画書の完 成を目指しました。なかなか研究が進まず、精神的にもか なりつらい時期がありましたが、多くの人の援助を得て、 当初の予定より1年余分にかかりましたが、4年目は研究 に着手し、懇切丁寧なご指導の下、まとめ上げることがで きました。臨床で培った看護実践能力に加えて、大学院で 研究手法を学び論文をまとめることで、文献を批判的に読 めるようになり、疑問に対して研究的に考えるようになり ました。今後も看護の発展に寄与するため、可能な限り研 究を継続したいと思います。

今回無事修了できたのは、同期生をはじめ先輩・後輩、職場の仲間と家族の協力や励ましのお陰です。そして何より、大変お世話になった先生方に深く感謝申し上げます。

大学で学ぶということ

学長 鎌倉やよい

入学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本 学は、昭和16年に日本赤十字社愛知県支部病院救護看 護婦養成所として発足して以降、75年の歴史のなかで、 4年制大学としては平成16年4月に開設されました。平 成22年4月には大学院修士課程が、昨年度から博士課程 が開設され、看護実践者、看護学教育者、看護学研究 者を育成する体制が整いました。

大学で「学ぶ」ということは、正解を教えてもらうことではなく、なぜだろうと疑い、真実を求めて自ら挑戦して考えることです。重要なことは、問題に取り組んで、自ら答えを見出す努力を続けることであり、柔軟に真剣に考えることそのものに意味があります。

さて、赤十字社を創設したアンリ・デュナンは、同時代を生きたナイチンゲールの活動を高く評価していました。ナイチンゲールは「看護とは、生命力の消耗を最小とするよう生活を整えることである」と言っています。傷病兵の病床環境を整えることで死亡率を激減させ、この成果を当時の統計学を駆使してデータで示し、環境改善を実現したことが残されています。暖かい心と冷静に観察する力、判断して実行する力、成果を説明し表現する力が重要です。

ナイチンゲールの言葉は、現代にも通じるものであり、看護は「医療を必要とする人々の生活を援助する」視点が重要です。看護を実践するためには、豊かな人間性を基盤として、優れた問題解決能力と熟練した技術力が必要です。皆さんが看護学を学び、追求し、赤十字の専門職として成長なさることを願っています。

夢の実現に向けて

看護学部新入生 竹内 莉那

私は将来国内外問わず活躍できる看護師になりたいと思っています。高校時代の授業や留学を通して、人を助けることに人種や宗教、国籍など関係が無い事に気付かされました。



この経験をきっかけに被災地の支援などの国内の 活動だけにとどまらず、世界で活躍されている赤 十字の活動を知ることができ、看護という仕事に 興味を持ちました。

世界で活躍できる看護師となるため、専門的な知識や技術はもちろんのこと、全く違う環境で育った患者さんにも寄り添えるように世界情勢や宗教など幅広い教養を身につけたいと考えています。

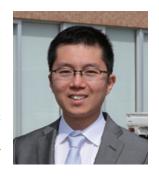
国や言語が違っても、人間性や思いやりは世界 共通だと思っています。しかし、これらは決して 座学で学べるものではなく、人と人との関わりの 中でしか知ることのできないものです。私はこれ からの大学生活の中で知識を身につけるとともに、 同じ志を持つ仲間や先生方との関係の中で豊かな 人間性を築いていきたいと思っています。

日本赤十字豊田看護大学での生活を一日も無駄 にせず、日々努力を重ねていきたいです。

大学院への抱負

大学院新入学生 森本 浩史

私は日本赤十字豊田看護大学に第1期生として入学し、卒業後は総合病院の救命救急センター/ICUで臨床経験を積んできました。大学院を志望したのは、超急性期の重症患者とその家族への看護を通し、臨床判断能力向上と後輩育成について、学びを深めたいと考えたからです。



例えば「患者のSpO2が低下した」という事象には、様々な要因があり、提供するケアも変わってきます。この一連の流れには看護師の臨床判断能力が不可欠です。臨床判断能力は高度な専門的知識に加え、経験などの直感的思考やパターン認識だけでなく、理論に基づく分析的思考が求められ、患者ケアのアウトカムに影響を与えます。また、後輩育成の観点からは、臨床判断の全ての過程において教育が必要となりますが、やる気や根性と言った感情や精神論ではない、理論や指導技術を用いて後輩にアプローチする事が必要です。しかし、これらのプロセスは、日常業務からでは学習し難い現状があります。大学院では、知識・理論・技術を習得し、自身の臨床判断能力を高めるとともに、研究的視点からこの課題の解決法を講じていきたいと考えています。

9年ぶりに母校に帰学するにあたり、迷う事もありましたが家族や職場の方々からの理解・支援をいただき、決断する事ができました。家事や育児、仕事に学業と決して楽な道では無いと思いますが、質の高い看護の提供を目指し、勉学に励みたいと思います。

卒 業 式













入 学 式







冷大学の活動が

救護員研修

日本赤十字社愛知県支部救護員研修に参加して

母性看護学 講師 千葉 朝子

平成28年11月8日(火)から10日(木)の3日間にわたり、日本赤十字社愛知県支部救護員研修が実施されました。本学からは私の他に事務職員が、研修に参加させていただきました。

日本赤十字社愛知県支部、名古屋第一赤十字病院、



名古屋第二赤十字病院、愛知県赤十字血液センター、 日本赤十字豊田看護大学から研修生が参加し、救護班 を編成し、救護訓練を行いました。訓練の内容は、現 場救護所活動、災害拠点病院支援活動、dERUを用 いた救護所の開設、野営訓練でした。

救護班では、医師、薬剤師、助産師、看護師、特殊救護要員、血液供給要員、災害対策本部要員の役割に分かれ、災害現場におけるチーム医療活動の実践を行いました。初めて顔を合わせるメンバーでのチーム医療活動でありましたが、訓練初日から、積極的なリーダーシップ、メンバーシップが発揮され、日を追うごとに救護班の結束が強くなっていくのを感じました。

いつ何時発生するかわからないあらゆる災害に備え、訓練で得た学びを反芻し、実動で きるようにしていきたいと思います。

RCT☆LINK

東北ボランティアから学んだこと

1年 山本 遥香

私はこの大学に入り、沢山の人に出会い、沢山の経験をさせていただきました。その中でも特に印象に残っているのは、昨年の夏に行った東北ボランティアです。宮城県で農業や漁業などの手伝いをするとともに、被災地をまわり、自分たちの目で復興状況を確認してきました。初めて東北に行って、自分はメディア

からの情報が全てだと思いこんでいたことに初めて気付きました。理解していたつもりでいた被害の大きさは想像以上で、実際の被災された方の話は本当に胸が痛みました。でも、それ以上に私は東北のみなさんの温かさが心に残っています。数日間ボランティアするだけの私たちを快く迎えてくださり、最後は沢山のお土産と励ましとともに笑顔で送り出してくださいました。東北に実際に行ってみて被災地の現状はもちろんですが、私はそれ以上に、東北には震災にあってもなお明るく前向きで、そして温かい心をもった方ばかりだということを知ることが

きました。このような貴重な経験をすることができたのは、この大学に入学する際に笑顔で送り出してくれた家族、それぞれの目標に向かって頑張っている、尊敬できる大学の友人、私を取り巻いてくださるすべての環境のおかげです。この感謝の気持ちとこれまでの学びを忘れず、日々努力していきます。(平成28年入学)



学生相談室紹介

相談のススメ

学生相談員 矢澤 沙緒里

本学には学生相談室があります。より豊かな学生生活を保障し、援助するために設置されています。相談内容は、学業、進路、対人関係、性格、人生、家族や家庭のことなど、学生生活全般にわたる問題や悩み事が対象の「なんでも相談室」です。長期休暇期間中を

除き、月・木曜日の午前11時30分から18時まで開室しています。相談室では、小中学校や高校にいたスクールカウンセラーのような存在の、心理カウンセラーがお話しをうかがいます。

私たちは日頃からさまざまなストレスを受けながら



生活しています。"ストレスとは、外部から刺激を受けたときに生で、けたときに生でなけたときでで、"目常のないないないないないないないないないないないないないないない。」ではいいないないないないないないないないないないないないないないないない。場をはいい。

Academic Library

Surface Pro4 館内貸出中

図書館司書 中尾 明子

文部科学省はアクティブ・ラーニングを次のように 定義しています。

「教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、 学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学 修法の総称。学修者が能動的に学修することによって、 認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含 めた汎用的能力の育成を図る。(略)」出典『新たな未 来を築くための大学教育の質的転換に向けて~生涯学 び続け、主体的に考える力を育成する大学へ~(答 申)』平成24年8月28日、中央教育審議会

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm

のpdf「用語集」 より

ではアクティブ・ ラーニングをしてい る状態とはどのよう な状態をさすので しょうか?例として あげるなら、





学生間の形式的な論争(debate)、ディスカッション 学んだことを1組、それ以上の学生同士で共有 アウトカム・レポートや短いレポートの作成 視聴覚映像を見て感想・意見を述べるなどです。

上記のようなアクティブ・ラーニングを図書館内で 実現するためのツールとして「Surface Pro4」5台を貸 し出しています。タブレット端末の利点はグループの 机に「平置き」したり、手渡したりして仲間と情報を 共有しやすいことです。Personal Computer よりグ ループ学習に向いているとも言えるでしょう。

PC端末としても利用しやすいよう、カバータイプの キーボードも整備しました。アクティブ・ラーニング、 個人学習に大いに活用して下さい。

Information

平成29年度入学試験結果

学部 入試区分	定 員	志願者数	受験者数	正規合格者数	実質倍率	入学者数
一般入試	50	543(38)	528(36)	128(8)	4.1	60(0)
センター利用入試	5	283(20)	283(20)	70(1)	4.0	8(1)
高等学校長推薦入試	30	58(6)	57(6)	35(2)	1.6	35(2)
日赤中部各県支部長推薦入試	30	35(4)	35(4)	33(4)	1.1	33(4)
社会人特別選抜入試	5	2(0)	1 (0)	0		0
計	120	921 (68)	904(66)	266(15)	3.4	136(7)
1 2/25				- ID A ID - W		7 1/ 1/1//

大学院 入試区分	定 員	志願者数	受験者数	正規合格者数	実質倍率	入学者数
大学院入試 (修士課程)	前期 10	4(1)	4(1)	4(1)	1.0	4(1)
人字阮人武 (修工課程)	後期	1 (0)	1 (0)	1(0)	1.0	1 (0)
大学院入試(博士課程)	2	3(0)	3(0)	3(0)	1.0	3(0)

※()内は男子学生数。倍率は小数点以下第二位を四捨五入。 大学院入試(博士課程)定員は北海道・秋田・広島・九州と本学合わせて計10名。 平成29年度の本学定員は2名。

平成29年度一般向け公開講座一覧

	領域	日時	講座名	内 容
	母性看護学	平成29年7月1日(土) 13:30~15:45	シリーズ 不妊を学ぶ 〜私たちらしい選択に向けて〜	不妊に悩んだご夫婦が納得のいく選択をするためには、お 二人の対話が必要になります。ご参加いただく皆さまのこ ころのサポートとなり、「子どもをテーマにご夫婦で語り取 り組む」ことに役立つ好機となればと願っています。
		平成30年2月17日(土) 13:30~16:45	シリーズ 不妊を学ぶ 〜妊娠力を高める食事に ついて考えよう〜	「妊娠力」を高める食事についての講座を行い、その後は アロママッサージ、不妊を経験された方のおはなし会を予 定しております。
公開講座	小児看護学	平成30年3月17日(土) 時間は未定	子どもの体とこころを 育む遊びの実際	遊びは、子どもの体とこころの成長に必要不可欠なものです。親子一緒に思いきり遊び、遊びの大切さについて考えましょう。遊んだ後の交流会では、日常的な困り事や心配事について話し合いましょう。
	精神看護学	平成29年12月16日(土) 14:00~16:00	こころの病とこころの癒し ~こころの病をきっかけに 発見する新しい自分~	日々の生活の中で直面する様々なストレス。こころの健康 を保つにはどのように生活していけばよいのでしょうか。こ の問いに対する答えのヒントは、こころのルーツを探ること にあります。そんなひとときを一緒に体験してみませんか。

いとすぎ祭&オープンキャンパス

○第14回いとすぎ祭

開催日時:平成29年5月27日(土)

場 所:本学 内 容:

模擬店、ステージショー、ヘルスチェック、

フリーマーケット、献血 他

○オープンキャンパスmini

開催日時:平成29年5月27日(土) *いとすぎ祭と同時開催

○オープンキャンパス2017

開催日時:①平成29年7月22日(土) 10:00~15:00

②平成29年8月18日(金) 10:00~15:00

参加方法:ホームページの申込みフォームからお申込み下

さい (順次公開)

もしくは企画・地域交流課 0565-36-5228 まで

平成29年度新任教員

准多	20 担	河相で	でる業	成人看護学
7,12.3				
講	師	加藤	和子	老年看護学
講	師	大島	泰子	精神看護学

助	教	酒井田由紀		基礎看護学
助	教	遠藤	幸子	小児看護学
助	手	神谷	智子	基礎看護学

平成29年度新任職員

経理課	東山 周作
図書館課	幸田悠香代

編集

熊本地震から早1年、今も尚、復興や生活再建 に向けご尽力されている皆様に、応援の気持ちを 忘れずにいたいと思います。

さて、風に舞う花吹雪に次いで、若葉の鮮やかな季節となりました。新入生の皆さん、大学生活はいかがです

「いとすぎの丘」vol.25をお届けいたします。本号では、学長の言葉、卒業式・入学式、救護員研修などについて紹介しております。ご執筆をお引き受けいただいた皆様に感謝申し上げます。今後も大学のこぼれ話や、いきいきとした活動を発信してまいりたいと思います。皆様からのご投稿をお待ちしております。

か?心身の不調を感じたときには、早めに相談をしましょう!

いとすぎの丘 Vol.25

発行日/2017年5月

編集・発行/日本赤十字豊田看護大学 入試・広報委員会、企画・地域交流課

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33 TEL 0565-36-5228 FAX 0565-36-5256 E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp HP http://www.rctoyota.ac.jp/